

2013（平成25）年度収支決算の概要について

青山学院財務部

2013（平成25）年度決算報告書（学校法人会計及び収益事業部会計）は、2014年5月29日開催の理事会で承認されましたのでここにご報告いたします。収支決算の概要は以下のとおりですが、決算の詳細は、資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表等をご覧ください。

消費収支は、帰属収入合計が349.5億円、消費支出合計が337.1億円で、帰属収支差額は12.4億円の収入超過となりました。

消費収入の主なものは、授業料等の学生生徒等納付金254.5億円、国や地方公共団体からの補助金36.0億円、入学検定料等の手数料19.7億円などです。前年度決算と比較しますと、学生生徒等納付金が、大学の入学定員超過率の厳格化及び女子短期大学の定員減を伴う学科改組が完成年度を迎えたことにより在籍者数が減少し、前年比6.9億円の減収となりましたが、補助金は情報収集に努め学内各部署で新たな補助金の申請を積極的に行ったことや、補助金対象となる設備等の導入・更新を前倒して行ったことなどにより、前年比7.9億円の増収となりました。また青山キャンパス近隣の土地売却により資産売却差額（売却益）13.1億円を計上しました。これらにより帰属収入合計は前年比10.4億円の増収となりました。

消費支出の主なものは、人件費192.4億円、教育研究経費118.9億円、管理経費21.2億円などです。教育研究経費には、ICTネットワーク関連費用7.5億円、次期ICTネットワーク関連費用（補正予算にて承認）3.4億円、キャンパス内清掃業務委託費用3.0億円、大学図書館業務委託費用2.3億円、大学八ヶ岳寮解体費用6千万円、東日本大震災被災学生に対する学費減免費用5千万円などが、管理経費にはICTネットワーク関連費用5千万円などが含まれています。資産処分差額には、不動産9千万円や有価証券8千万円などを計上しています。前年度決算と比較しますと、管理経費は2.6億円の減少、資産処分差額は7.9億円の減少となり、消費支出合計は10.5億円の減少となりました。

資金収支に計上される施設関係支出の主なものは、高等部・中等部の校舎建替設計監理5千万円、総研ビル・間島記念館の用途変更工事9千万円、設備関係支出の主なものは、ICT教研システム備品2.7億円、ICTネットワーク備品6.2億円、大学各教室AV機器6千万円などです。

2014年度は、2008年度より開始した高等部校舎の建替が体育館の完成をもって完了となり、中等部校舎建替の準備工事も開始されます。今後の青山キャンパス再開発や相模原キャンパスの維持発展のためには、中・長期的展望を持った財政運営が重要となってきております。更なる教育研究の充実を図るためにも、収支構造の再構築を進め、限られた原資を有効に活用して財政運営を進めてまいりたい所存です。

以 上